

研究テーマ	果実の収穫適期の把握と専用カラーチャートの開発 (第2報)		
担当者 (所属)	鈴木文晃・串田賢一 (デザイン技術部)・小林和司・宇土幸伸・富田晃・萩原栄輝 (果樹試験場)・飯田敏博・弘中達也 ((社) 山梨県情報通信業協会)		
研究区分	総理研研究	研究期間	平成 23~25 年

【背景・目的】

山梨県特産であるスモモやブドウでは、外観(果皮色)や味がバラエティに富んだ様々な品種が育成されているが、これらは品種ごとに色合いが異なり、外観による収穫時期の判断が難しい。そこで生産者が果皮色を基準として、それぞれの品種の収穫適期の判断ができるような色票(カラーチャート)の開発を目指し、研究開発を行った。このカラーチャートが実用化されると、就農経験の多少に関わらず果実の収穫適期の判断ができるようになり、高品質な果実の出荷が可能になる。

【得られた成果】

H23年度に引き続き、H24年度はブドウはサニードルチェ、スモモはサマーエンジェル2品種についてカラーチャートの開発を進めた。サニードルチェについては熟成の各時期に撮影した果粒の写真データから画像編集ソフトを用いて色を抽出、サマーエンジェルについては果樹試験場で測色した果皮色のL*a*b*値をもとにチャート色の作成を行い、カラーチャートの作成を行った。それらは実際の果皮色と比較・検討・修正を行い、ともに5段階のカラーチャートを試作した(図1)。

また、昨年度カラーチャートの開発を進めたシャインマスカットについては、製品化に向けてのデザイン開発を行い、4案のデザイン案を作成した(図2)。これらから圃場での使用や量産性などを考慮した結果、横長矩形の案を採用することとし、実際に製作を行った。これらは今後シャインマスカットの生産農家において果皮色判断に使用し、果皮色の再現性や使用感、収穫適期判断の適当性などについて調査する予定である。

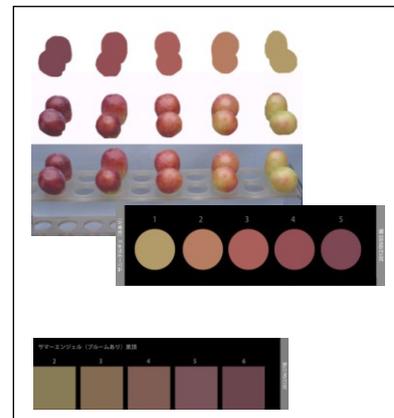


図1 チャート色の作成と試作カラーチャート
(上: サニードルチェ
下: サマーエンジェル)



図2 カラーチャートデザイン案

【成果の応用範囲・留意点】

製作したシャインマスカットのカラーチャートについては、果皮色の再現性や使用感、収穫適期判断の適当性などについて調査を行い、必要に応じて修正等を行う。またその結果を受け、残りの品種についてもカラーチャートの製作を行う予定である。